

【参考資料】 林分の混み合い度等の指標

- ・ **形状比** : 個々の林木に対するもの
樹高を胸高直径で除した値
算出式：樹高÷胸高直径
80を超えると気象害に対して弱い樹形
- ・ **樹冠疎密度** : 標準地等の林分に対するもの
樹冠投影面積を森林面積で割った値
算出式：樹冠投影面積÷森林面積×100（=100－開空度）
80以上が混み過ぎ
- ・ **収量比数** : 標準地等の林分に対するもの
「林分密度管理図」における最多密度に対する相対的な混み具合
（林分密度管理図：一斉林のha当たり本数・幹材積・樹高・
胸高直径・収量比数の関係を表したグラフ）
（最多密度：ある樹高での本数密度の上限）
0.8以上が混み過ぎ
- ・ **相対幹距比** : 標準地等の林分に対するもの
上層木の平均樹高に対する平均個体間距離の割合
算出式：（（10,000m²÷本数密度）^{0.5}）÷平均樹高
20%くらいが適当な混み具合、17%を下回ると混み過ぎ